

弁護士 秦 真太郎 先生

平成 27 年 月 日

前略ごめんください。

この度は何かとお世話になり誠にありがとうございます。

判決文を拝見し、温かい裁きと存じました。

これはひとえに先生のお陰と心から感謝いたしております。

この裁判を引き受けていただいただけでも、十分有り難いと存じておりましたのに、ここまで来られたこと、厚くお礼申し上げます
(言葉で言い尽くせないほどです)。

氏が控訴するかしないかは、彼の勝手と存じますので私共、
これからも、よろしくご指導をいただきたいと存じます。

未熟な私達 ですが、

今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

かしこ